

置時計 | ソーラー電波クロック

取扱説明書 |

この度は弊社商品をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。
ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用くださいますようお願い申し上げます。
なお、この取扱説明書はお手元に保管し、必要に応じてご覧ください。

この取扱説明書の内容は、将来予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。
印刷による制限のため、この取扱説明書中の図が実際の表示と異なる場合があります。
本製品によって生じた、いかなる支出、損益、その他の損失に対して、弊社は一切の責任を負いません。
この取扱説明書の内容の一部またはすべてを、製造者の許可なく転載・変更・複製することは禁じられています。

本製品、またはアフターサービスなどについてご不明な点がありましたら、製品の裏面または底面に表示されている製品番号（品番）をご確認のうえ、下記クロックお客様相談室にお問い合わせください。

（例：SQ○○○、BC○○○、NR○○○など）

クロックお客様相談室 0120-315-474

https://www.seikowatches.com/jp-ja/

発売元

セイコーウォッチ株式会社

説明書番号 FSQ-096W

電波クロックについて

＜電波時計／電波修正機能とは＞

正確な時刻およびカレンダー情報をのせた標準電波を受信することにより、自動的に時刻を修正・表示します。

＜標準電波とは＞

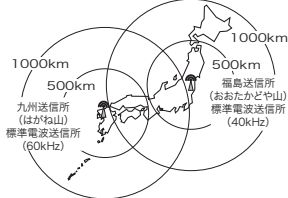
情報通信研究機構（NICT）が運用している時刻情報をのせた電波で、国内2カ所の標準電波送信所からそれぞれ異なる周波数で送信されています。標準電波の時刻情報はおよそ10万年に1秒の誤差という超高精度を保つ『原子時計』によるものです。

＜電波受信について＞

標準電波が受信可能な地域は条件によって異なりますが、送信所（東・西2カ所）からおおむね1000km～1200kmです。この製品は40kHz（東・福島送信所）、60kHz（西・九州送信所）のいずれか受信しやすい電波を自動的に選択し受信します。ただし、天候、設置場所、時計の向き、時間帯、地形、建物の影響などによって受信できない場合があります。

＜ご注意＞

- 電波障害などによって、誤った時刻が表示される場合があります。また設置場所や電波状況によっては受信できないことがあります。そのようなときは、場所を変えてお使いください。
- 電波を受信できない場合は、内蔵クオーツの精度で動作します。
- 標準電波は、毎時15分と45分から各1分間は一部の時刻情報の送信が中断されます。また、設備のメンテナンスや落雷などの影響により電波の送信が停止（停波）することがあります。停波に関する情報は、情報通信研究機構日本標準時グループのホームページをご覧ください。（ホームページアドレス https://jjy.nict.go.jp/）



保証・アフターサービス

- 本製品はメーカー保証です。保証の内容については付属の保証書をご覧ください。なお、保証書は日本国内のみ有効です。また、アフターサービスも日本国内のみの対応となります。
- 保証期間中の保証規定に基づいた修理品は、販売店がお預かりし、メーカーが無料で修理いたします。必ず販売店名が捺印された保証書を添えてご依頼ください。
- 保証期間中でも無料修理の対象とならない修理品、および保証期間経過後の修理品は、ご希望により有料で修理させていただきます。
- 本製品の修理用部品は、製造終了後3年間保有しています。この期間は原則として修理が可能です。修理用部品とは、製品の機能を維持するために不可欠な製品本体の部品です。なお、修理可能な期間は、ご使用条件により異なります。また、修理可能な場合でも、元どりの精度とならない場合があります。販売店とよくご相談ください。
- 修理の際、部品・その他の付属品は、一部代替部品または再生品を使用させていただくこともありますので、ご了承ください。
- 有料修理の際は、本体の修理料金のほか、取扱店と修理工場との間の往復運賃など、諸費用をお客様にご負担いただきます。なお、修理代金が標準小売価格を上回る場合があります。あらかじめご承知ください。
- 保証期間中・経過後ともに、修理を依頼されるときは本製品を販売店にご持参ください。販売店で保証が受けられない場合は、クロックお客様相談室にご相談ください。
- お客様が本製品を分解されると、修理不可能となる場合があります。また、保証の対象外となりますので、ご注意ください。
- ご不明な点は、クロックお客様相談室にお問い合わせください。

製品仕様 改良のため予告なく変更する場合があります

時 間 精 度：平均月差±30秒

（電波受信による時刻修正を行わない場合・気温5℃～35℃で使用した場合）

表示誤差±1秒（電波受信による時刻修正を行った直後）

使用温度範囲：－10℃～50℃（液晶表示部 判読可能温度範囲：0℃～40℃）

カ レ ン ダー：2000年1月1日～2099年12月31日のフルオートカレンダー（月末、うるう年とも修正不要）

温度表示精度：±2℃（0℃～40℃の間）

湿度表示精度：±8％（温度25℃で25％RH～85％RHの間）

表 示 内 容：日付（月・日）、曜日、午前／午後表示による12時間制または24時間制表示

周囲温度（℃）・湿度（％）

ソーラーセル：薄膜太陽電池

補 助 電 池：円筒型リチウム電池（CR123A） 1個

電 池 寿 命：①屋内の明るい場所（約200ルクス以上）で1日あたり8時間使用した場合の補助電池の寿命は約5年

②暗い場所で使用し続けた場合の補助電池の寿命は約3年

受 信 機 能：・自動受信… 毎日午前2時。受信できない場合は、午前6時まで毎正時。

（受信から次の受信まではクオーツの精度で動作）

・手動受信… ボタン操作による

受信結果確認機能：受信マークで表示

時刻合わせ機能：電波受信による自動セット、または手動セット

※電池の寿命はご使用の条件によって変わります。

故障かな？と思ったときは

本製品が正常に動作しないときは、修理を依頼される前に、以下の表を参考に対処してください。なお、新しい電池と交換する場合は、電池の使用推奨期限をご確認のうえご使用ください。

症 状	考えられる原因	処 置
表示が出ない	・内蔵のマイコンが正しく動作していない。 ・補助電池の容量が少なくなっている。	・電源スイッチを一旦「切」にしてから「入」にして、確実にリセットボタンを押してください。 ・新しい電池を、向きを確かめながら入れてください。（裏面「 ■ 補助電池交換について」をお読みください）
時刻またはカレンダーの表示が欠けている	・内蔵のマイコンが正しく動作していない。 ・補助電池の容量が少なくなっている。	・電源スイッチを一旦「切」にしてから「入」にして、確実にリセットボタンを押してください。 ・新しい電池を、向きを確かめながら入れてください。（裏面「 ■ 補助電池交換について」をお読みください）
時刻またはカレンダーが合っていない	・受信に成功していない。 ・補助電池の容量が少なくなっている。	・上記「 ■ 電波を受信できなかった場合をお読みになり再度受信させてください。 ・新しい電池を、向きを確かめながら入れてください。（裏面「 ■ 補助電池交換について」をお読みください）

必ずお守りください 安全上のご注意

⚠ 警 告 死亡または重傷を負う恐れがある内容

＜リチウム電池について＞

- (1) 補助電池はリチウム、有機溶媒など可燃性物質を内蔵しており、使い方を間違えますと発火、発熱、漏液、破裂の原因となります。
- (2) 充電、ショート、変形、分解、加熱、火中に投入などをしないでください。
- (3) 電池は乳幼児の手の届かない所に置いてください。
- (4) 誤って電池を飲み込むと、化学やけどや粘膜組織の貫通などを引き起こし、すぐに取り出さないと、最悪の場合は死に至ることがあります。万一飲み込んだとき、または飲み込んだ恐れがあるときは、直ちに医師に相談してください。

＜梱包用ポリ袋について＞

窒息する恐れがありますので、ポリ袋を絶対にかぶらないでください。

＜液晶パネルについて＞

液晶パネルが破損すると、破損した部分から液晶（液状）が漏れたり、ガラスの破片が飛び散ることがありますので、十分注意してください。万一、以下の状態になったときは、それぞれの応急処置を行ってください。

- (1) 皮膚に付着した場合
付着物をふき取り、水で流し、石けんでよく洗浄してください。
- (2) 目に入った場合
きれいな水でよく洗い流し、最低 15分間洗浄した後、医師の診断を受けてください。
- (3) 飲み込んだ場合
水でよく口の中を洗浄してください。大量の水を飲んで吐き出した後、医師の診断を受けてください。

⚠ 注 意 けがをしたり家財に損害を与える恐れがある内容

＜製品の設置場所について＞

落下や転倒により、けがをしたり器物を破損する恐れがありますので、振動のある場所や、不安定な場所には本製品を設置しないでください。

＜電池について＞

下記の注意事項を必ず守ってください。電池の使い方を間違えると、液漏れや破裂により、本製品の故障やけがの恐れがあります。

- (1) 製品仕様に記載された電池寿命を経過した場合は、本製品がまだ動いていても、新しい電池と交換してください。また、本製品を使わないときは、電池を取り外してください。電池を入れたままにしておく、寿命の切れた電池からの液漏れなどにより、本製品や周囲の物を汚したり、傷めたりする恐れがあります。
- (2) 電池は必ず⊖側から入れてください。また、⊕⊖を正しく入れてください。
- (3) 付属の電池は充電式ではありません。充電すると液漏れや破裂の恐れがあります。
- (4) 電池に直接ハンダ付けしたり、水滴を付けたりしないでください。
- (5) 直射日光の当たる場所や、高温・多湿の場所を避けて保管してください。また、使用済みの電池は速やかに処分するか、幼児の手の届かない所に保管してください。
- (6) 本製品が動かないなどの場合、電池の端子が汚れていることがあります。そのときは、やわらかい布で乾ぶきしてください。
- (7) 付属の電池は、工場出荷時に同梱された電池です。お買い上げ後、製品仕様の年数に満たないうちに電池寿命が切れることがあります。
- (8) 充電式電池や初期電圧が高い電池を使用しないでください。正常に動作しなかったり、電池寿命が短くなるなどの不具合が発生する場合があります。

＜ソーラーセルについて＞

太陽光に直接あてないでください。このソーラー電波クロックは、屋内専用です。直射日光をあてると、光発電の能力が低下する原因となります。

＜分解や改造をしない＞

本製品を分解したり、改造したりしないでください。本製品の故障やけがの恐れがあります。

＜製品と電池の廃棄について＞

お住まいの自治体の定める規則に従い、廃棄してください。

必ずお読みになってからご使用ください

使用上のご注意

- 本製品にはマイコンが内蔵されています。静電気などにより誤動作することがありますが、故障ではありません。誤動作した場合は、「電源スイッチ」を一旦「切」に合わせて、数秒後に「入」にして、確実に「リセットボタン」を押してください。「電源スイッチ」を「切」にした場合は、設定された時刻などがリセットされます。
- 本製品は日本標準電波仕様のため、海外では電波修正機能は使用できません。
- 電池交換後は、必ずリセットボタンを押してください。

＜温度・湿度表示について＞

- センサーが製品内部にあるため、製品周囲の温度・湿度が変化しても表示が変わるまで時間がかかります。
 - 温度・湿度が次のような状態になったときの表示
 - ・温度：－30℃より低い「Lo」／60℃より高い「Hi」
 - ・湿度： 20％より低い「Lo」／90％より高い「Hi」
- ただし、湿度表示は湿度が0℃～60℃以外の状態では「ー」と表示されます。

＜液晶パネルについて＞

- 見る方向によって表示が薄くなったり、ムラになったりすることがあります。
- 温度が低くなると液晶表示の反応が遅くなることがあります。
- 温度が高くなると液晶パネル面が黒くなり、判読できなくなることがあります。
- 次の場合、静電気や圧力を加えることにより、黒い線・しみ・縞模様が発生することがありますが故障ではありません。しばらく放置しますと元に戻ります。
 - ・表示部のシールをはがしたり、乾いた布などでふいたとき
 - ・指などで液晶パネルを押したとき

使用場所について

下記のような場所で使用しないでください。本製品や電池の品質が確保されなくなり、精度不良や電池切れを起こすことがあります。

また、本製品は業務用ではありません。

- 温度が50℃以上になる所や直射日光の当たる所。（例）屋外、または暖房器具などの熱風や火気に近い所。
- 温度が－10℃以下になる所。
- ちり・ほこりの多い所。
- 大型テレビ・スピーカーのそばや、強い磁気のある所。
- 浴室など湿気が多い所。また、水がかかる所や加湿器の蒸気が直接当たるような所。
- 振動のある所。不安定な所。
- 工場、台所など、多くの油を使用する所。
- ビニール系素材の壁、敷物などの上。
壁や敷物、および本製品が汚れたり傷むことがあります。
- 温度や湿度の変化が激しい所。
寒い所から暖かい所への移動などにより、結露が生じることがあります。

本製品は、テレビやラジオと同様に電波を受信するものです。ご使用の際はできるだけ、電波を受けやすい窓際などに設置してください。なお、天候、時間帯、建物の影響など、次のような環境条件では正確に受信できないことがあります。場所を変えてご使用ください。

- ビルの中、ビルの谷間、地下
- 高圧線、テレビ塔、電車の架線の近く
- テレビ、冷蔵庫、エアコン、空気清浄機、パソコン、ファクシミリなどの家電製品や OA 機器の近く
- 工事現場、空港や軍事基地の近く、交通量の多い所など、電波障害が起きやすい所
- 乗り物の中（自動車、電車、飛行機など）
- スチール机など、金属製の家具の上や近く
- その他、電波ノイズを発生させるものの近く

※ 電波を受信できない場合は、内蔵クオーツの精度で動作します。

お手入れについて

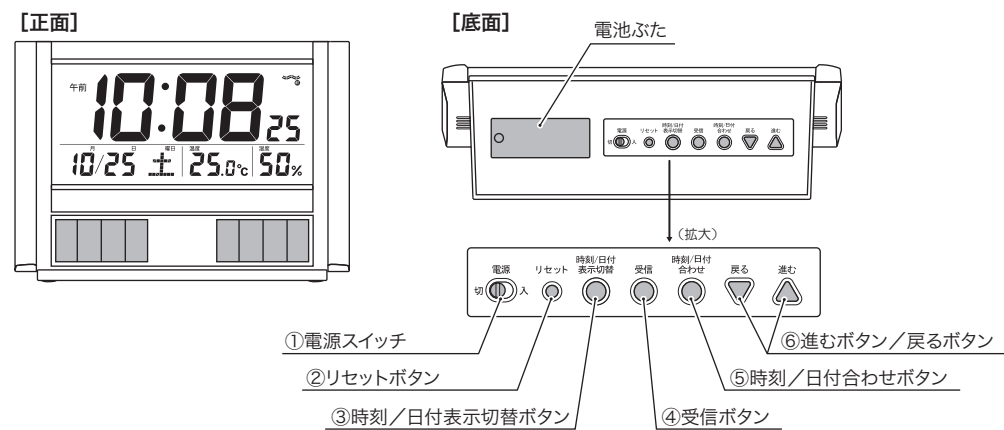
- 本体を清掃するときは、湿った、やわらかい布でふいてください。
- 汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤を少量、やわらかい布に含ませてふいてください。その後、やわらかい布で乾ぶきしてください。
- お手入れの際、ベンジン、シンナー、アルコール、磨き粉、各種ブラシなどは使用しないでください。また、殺虫剤、ヘアスプレーなどがかからないようにしてください。変色したり、傷が付く恐れがあります。

はじめに

安全上のご注意ならびにその他の注意事項をお読みのうえ、ご使用ください。
表示部にシールが貼ってある場合は、ゆっくりはがしてください。

※静電気により黒い線、しみなどが発生することがありますが、しばらく放置しますと元に戻ります。

各部の名称



①電源スイッチ

- ・ご使用時は電源を「入」にしてください。
- ・長期間ご使用されない場合は「切」にしてください。
- ・電源スイッチを「切」にした場合は、設定された時刻などはすべてリセットされます。

②リセットボタン

- ・電源スイッチを「切」から「入」に切り替えた後は必ず押してください。

③時刻／日付表示切替ボタン

- ・時刻とカレンダーの表示位置を切り替えるときに使います。

④受信ボタン

- ・[通常表示] のときに押すと、標準電波の受信を開始します。
- ※表示については右記「■時刻／カレンダー表示切替について」をご参照ください。
- ・受信中に押すと受信を中止します。

⑤時刻／日付合わせボタン

- ・手動で現在時刻や日付を合わせるときに使用します。(2秒以上押し続けてください。)

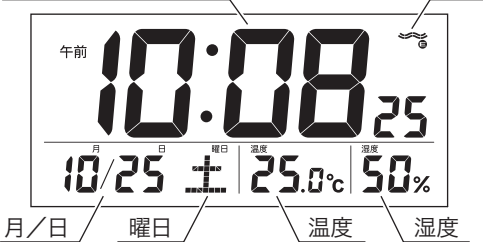
⑥進むボタン／戻るボタン

- ・現在時刻や日付を合わせるときに使用します。

■液晶部

【通常表示＜時刻表示＞の場合】

現在時刻(時・分・秒)



受信マーク

電波の受信状態を表示します。
24時間以内に電波の受信に成功しているときに表示されます。
受信中は点滅します。
Ⓜ を表示: 福島送信所からの電波を受信
Ⓜ を表示: 九州送信所からの電波を受信

付属品

ご使用前に確認してください。

- 取扱説明書(本書) 1枚
- 保証書 1枚

※補助電池: 円筒型リチウム電池(CR123A 1個)は本体にはじめから組み込まれています。

ハイブリッドソーラー製品について

<光発電について>

- 光発電は、光をあてることでソーラーセルが光を電気に変換し、その電気で時計が動きます。
- できるだけ室内の明るい場所でご使用ください。
- ※ 寝室や窓のない部屋などでは十分な明るさが得られない場合があります。

<ハイブリッドソーラーについて>

- 本製品は、長期間のご使用を可能とするため、光発電とリチウム電池(補助電池)を併用しています。室内が暗い場合は補助電池のみで作動します。
- ※ 補助電池(円筒型リチウム電池 CR123A)がなくなった場合は、交換が必要になります。
- 長い間ご使用にならない場合は、「電源スイッチ」を「切」にしてください。補助電池の消費を抑えることができます。

ご使用方法

1. 電源を入れてください

底面の「①電源スイッチ」を「入」(右側)にしてください。

2. 「②リセットボタン」を先端の細いもので押してください

表示が全てついた後、時刻「午前12:00」となり、標準電波の受信を開始します。
注)電源を「切」から「入」に切り替えた後は、必ず「②リセットボタン」を押してください。

3. 時計を設置してください

- 本機を使用したい場所に設置してください。(窓際などできるだけ受信しやすい場所でのご使用をお勧めします。)
- 受信中は、Ⓜ マーク(または Ⓜ マーク)が点滅し、受信マークⓂ が受信状態に応じて変化します。
- 受信に要する時間は最長約20分間です。

【受信成功】

受信マークⓂ が表示され、[月/日] [曜日] [時:分] [秒]が正しい日付と時刻に修正されます。

- 受信成功後、正しく表示されているかをご確認ください。

【受信できない】

- 受信マークⓂ は表示されず、このとき時刻、日付の修正は行なわれていません。右記「■電波を受信できなかった場合」にしたがって場所を変えて再度受信させるか、手動操作で時刻、日付を合わせてください。
- 使用場所の受信状態が良くない場合は、数分で受信を中断することがあります。



その他の機能

■自動受信について

午前2時に自動で電波受信を行います。
(受信に失敗した場合は、午前6時まで1時間ごとに自動受信を繰り返します。)
受信に成功すると現在表示している時刻、日付を修正します。

■電波を受信できなかった場合

1. 電波を手動で受信させ時刻、日付を合わせる

「④受信ボタン」を押してください。標準電波の受信を開始します。

- 受信状態については、左記「ご使用方法」をご覧ください。
- うまく受信できない場合は本体の向きや場所をかえて、もう一度受信させてください。
ご使用中に受信マークⓂ が表示されない場合は、使用場所の受信状態が良くないことが考えられます。
- 詳しくは裏面「電波クロックについて」をご覧ください。
また、夜間は昼間にくらべて受信状態が良くなりますので、昼間に受信できなかった場合でも翌日までに自動で受信できる場合があります。

2. 手動で時刻、日付を合わせる

電波を受信できない場合は、手動で時刻、日付を合わせてご使用ください。

- (1)「⑤時刻／日付合わせボタン」を2秒以上押し続けてください。
- (2)「⑤時刻／日付合わせボタン」を押すごとに、下図のように順に表示が点滅します。
- (3)「⑥進むボタン／戻るボタン」で日付や時刻を合わせてください。
- 「⑥進むボタン／戻るボタン」を押し続けている間は早送りします。
- 約4分以上「⑥進むボタン／戻るボタン」や「⑤時刻／日付合わせボタン」が押されなかった場合は、自動的に[通常表示]に切り替わります。時刻や日付は[通常表示]に切り替わる直前の表示です。



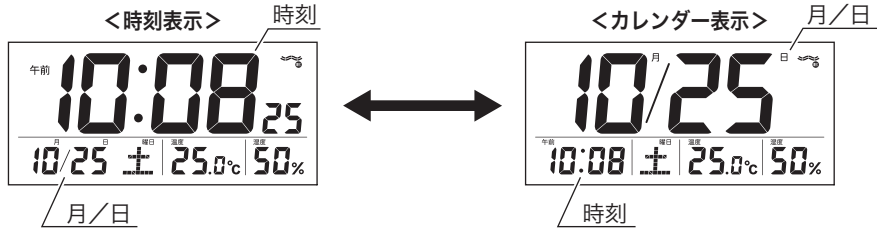
- (4)12／24時間制選択が終了しましたら、「⑤時刻／日付合わせボタン」を押して [通常表示] に切り替えてください。

■12時間制／24時間制の選択について

時刻の表示方法を切り替えるときは、上記「■電波を受信できなかった場合 2.手動で時刻、日付を合わせる」にしたがって、12時間制または24時間制表示を選んでください。
(受信マークⓂ が表示されている場合、時刻の表示方法を切り替えると受信マークⓂ は表示されませんが、その後受信に成功すると再度表示されます。)

■時刻／カレンダー表示切替について

「③時刻／日付表示切替ボタン」を押すごとに、時刻とカレンダーの表示位置が切り替わります。



■自動受信を止めるには

- この時計には自動受信を止める機能があります。
(誤受信の防止や設定時刻をずらしてお使いになりたい場合等にご使用ください。)
- (1)「③受信ボタン」を、“OFF”が表示されるまで8秒以上押し続けてください。
- (2)上記「■電波を受信できなかった場合 2.手動で時刻、日付を合わせる」にしたがって時刻を合わせてください。
- この機能を設定した後も「③受信ボタン」を押すと受信を行います。その後自動受信はしません。
- この機能を解除するには、「③受信ボタン」を、“ON”が表示されるまで8秒以上押し続けてください。

■補助電池交換について

屋内の明るい場所(約200ルクス以上)で1日あたり8時間使用した場合の補助電池の寿命は約5年です。補助電池が消耗すると、現在時刻や日付などが正しく表示されなくなります。そのときには補助電池を交換してください。

- (1)「①電源スイッチ」を「切」にしてください。
- (2)プラスドライバーで底面の電池ふたのねじを回して電池ふたをはずしてください。
- (3)指定の電池(CR123A 1個)を⊕ ⊖の向きに注意して交換してください。
- (4)電池ふたをはめてねじをしめてください。
しめる際はねじを強く回し過ぎないようにご注意ください。
- (5)「①電源スイッチ」を「入」にしてください。
- (6)「②リセットボタン」を先端の細いもので押してください。標準電波の受信を開始します。

